

榎野川河口域・干潟自然再生協議会

ニュースレター No.15

2019年3月発行

トピックス

『ふしの干潟いきもの募金』がはじまりました！

18団体
サポーター

4月から募金活動が開始しました！ 地域のお店に募金箱やパンフレットを置かせていただき、漁協さんからは榎野川流域で採れたあさりや鮎を活用した寄付付き商品などによりご支援をいただきました。また、イベントでは、水産大学校や山口県立大学の学生さんに募金の呼びかけをしていただきました！活動に共感し、ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

〈ご寄付をいただいた団体〉 五十音順・敬称略

あいおいニッセイ同和損害保険(株)／榎野川漁業協同組合／山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所／ライフスタイル協同組合



県漁協山口支所 様から



山口カブトガニミニ展示館



キッチンcaféさわ



道の駅 阿知須



道の駅 仁保の郷

あいおいニッセイ同和損保との連携！

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保

あいおいニッセイ同和損害保険(株)様からご寄付をいただくとともに、同社、あいおいニッセイ同和山口支店プロ会・山口県・山口市・協議会の5者で環境保全活動に関する連携協定を結びました！産学官民の連携を進めていきます。



あさりの収穫量が過去最高！

800kg
収穫量

あさり再生活動を始めてから過去最高の収穫量を記録！子どもだけでなく、大人も潮干狩りが楽しめるイベントも開催され、多くの方が干潟を楽しみました。協議会の目指す「里海」の姿が戻ってきています。



クロツラヘラサギ保護ケージ完成！

28羽
飛来数

NPO法人野鳥やまぐちがきらら浜自然観察公園で取り組んでいる事業で、負傷したクロツラヘラサギを保護・リハビリするためのケージが完成しました！2019年は国際シンポジウムの開催も予定されています。



ふしの干潟ファンクラブによる活動応援！

29名
会員数

会員の方にボランティアやイベント参加を通じて活動を応援いただいています！伊藤園山口支店様、宇部セントラルコンサルタント様などの企業にも登録いただき、活動の輪が広がっています。



榎野川河口干潟再生活動2018 ～やまぐち森・里・川・海自然再生プロジェクト～

364人
参加者

- 開催日：2018年4月28日
- 主催：榎野川流域連携促進協議会、山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所
- 後援：伊藤園山口支店 協力：山口大学、水産大学校、山口県立大学、積水ハウス山口工場、西京銀行等

◆ 榎野川の恵みを味わう試食会



活動前に恒例のあさり汁と山菜の天ぷら、鮎の魚醤のめんつゆを使ったぶっかけうどんがふるまわれました！

◆ 干潟耕耘・あさり再生活動



干潟耕耘は14年目になるシンボリック活動！干潟を耕し、生き物の生息に適した底質環境にします。300㎡を耕し、あさり再生のための被覆網を張りました。被覆網は、鳥や魚のエサになる生き物を増やすためにも大切です。

◆ 生き物プールづくり



様々な生き物が集まるプールをつくりました！

◆ 潮干狩り・生き物観察会



潮干狩りと生き物観察を楽しみました！

TOYOTA SOCIAL FES!! 2018 ～やまぐち森・里・川・海自然再生プロジェクト～

46kg
回収ゴミ

- 開催日：2018年7月28日
- 主催：榎野川流域連携促進協議会 協賛：トヨタ自動車 後援：山口新聞社
- 協力：トヨタ関連企業、伊藤園山口支店、積水ハウス山口工場、水産大学校

◆ 海岸清掃



南潟の海岸は、カブトガニの産卵場でもあり、生き物にとっても大切な場所です。参加者100人以上で海岸清掃を行い、ペットボトルなど46kgのゴミを回収しました！

◆ 干潟の生き物調査



みんなで生き物を探し、貝類やカニ類など30種類を発見！水産大学校の学生さん、山口大学、県環境保健センター、NPO法人野鳥やまぐちの先生などに講師のご協力をいただきました。



カブトガニ幼生生息調査

1000匹
発見数

山口湾は「生きている化石」カブトガニが生息する貴重な地域です。協議会のワーキンググループでは、山口カブトガニ研究懇話会の原田代表がリーダーとなり、山口大学やボランティアの協力を受け、生息調査を行っています。昨年よりも多くの個体を発見でき、若齢の割合が高くなる傾向もみられています。県内外から多くの方に参加いただき、調査後にはかき氷のサプライズプレゼントもありました！



場所	調査日	参加者
長浜	2018年8月26日	59人
南潟	2018年9月10日	17人



環境学習活動

二島小学校の干潟活動

二島小学校の6年生が干潟の生き物などを学び、干潟をもっとアピールするためのゆるキャラを創作！より多くの方がこの地域の大切さを知るきっかけになれば嬉しいです。



海と日本プロジェクト in やまぐち

日本財団等により全国で進められているプロジェクト。瀬戸内海コースに山口湾が選ばれ、14人の子どもたちがカブトガニ、野鳥、アサリ等とふれあい、海を守る大切さ、山口湾の貴重な自然を学びました。



野鳥の教室 @きらら浜自然観察公園

12月に山口市環境政策課が主催！オオハクチョウ、ダイサギ、ミサゴなど様々な野鳥を観察しました。



干潟の生き物展示 @道の駅仁保の郷

5月の道の駅のイベントで、カブトガニなどの生き物を展示し、募金活動も行いました！



コラム 南潟でヘイケガニを発見！

壇ノ浦の戦いで亡くなった平家の侍の怨念が乗り移ったという伝説のあるヘイケガニ(平家蟹)を波打ち際で見つけました。甲羅の凹凸が武者の怒りの表情のように見えます。甲羅の幅は2cm位と小さいですが、顔の迫力は相当なものです。主に瀬戸内海から九州の海に生息し、歩脚は前の2対は左右に長く伸び、後ろの2対は短く背面にあり、貝殻等を背負う性質があります。この個体はカニの脚の断片のようなものを背負っていました。

山口県環境保健センター
環境科学部 下濃 義弘



榎野川流域の活動紹介



自然再生協議会会議

2018年4月28日に第24回会議、2019年2月16日に第25回会議を開催しました。
第24回会議では、中津干潟で活動をされている「NPO法人水辺に遊ぶ会」の足利理事長のご講演、
第25回会議では、協議会委員等から調査研究や活動報告の発表をいただきました。

- 南潟における二枚貝モニタリング結果(県環境保健センター 環境科学部 川上専門研究員)
- 瀬戸内海西部の干潟域における肉食性巻貝と二枚貝の分布と捕食(水産大学校 沿岸生態系保全研究室 安田氏)
- アカシおよびサクグロタマツメタによる二枚貝への摂餌選択性(水産大学校 沿岸生態系保全研究室 大野氏)
- 山口湾干潟におけるトラフグ稚魚の食性ならびに炭素・窒素安定同位体比(瀬戸内海区水産研究所 重田委員)
- 線虫を使った干潟評価(瀬戸内海区水産研究所 辻野主任研究員)
- 山口湾におけるクロツラヘラサギの保全事業(NPO法人野鳥やまぐち 原田理事)



【お問い合わせ先】

榎野川河口域・干潟自然再生協議会 事務局 (山口県環境生活部自然保護課)
TEL : 083-933-3060 FAX : 083-933-3069 Mail : a15600@pref.yamaguchi.lg.jp
※ 会議資料やイベント情報等は、山口県自然保護課、山口市環境政策課のホームページで公開しています。

Facebook 県HP